

## ミスミグループ本社 2021年3月期 連結業績

～引き続き新型コロナの影響受けるも、期中より海外の設備投資需要が回復  
抜本的収益改善策の効果により増益を確保～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	増減率
売上高	313,337	<b>310,719</b>	-0.8%
のれん等償却前 営業利益 ※	24,247	<b>27,789</b>	+14.6%
営業利益	23,640	<b>27,199</b>	+15.1%
純利益	16,504	<b>17,138</b>	+3.8%
1株当たり純利益	58.18円	<b>60.36円</b>	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるその他無形固定資産の償却前営業利益

### <2021年3月期の連結業績ハイライト>

#### 1. 中国の成長がけん引するも売上高は前年比微減、収益改善策の徹底等で増益

- 当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が年間を通して続いたものの、中国では製造業を中心にいち早く経済が回復し、海外他地域の景況も期中より改善が見られ、設備投資需要は回復基調となりました。一方、日本においても同様に期末に半導体関連など一部の産業で回復の兆しが見えつつも、本格的な需要の回復には至りませんでした。
- こうした環境の中においても、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の确实短納期ニーズに応えることで世界の製造業に貢献しています。新型コロナウイルスの影響が続いている中、これまで当社が築いてきた IT、物流、製造の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用し、世界の顧客に対して安定供給を継続し短納期ニーズに対応しました。当連結会計年度は期中より海外の需要が回復したものの、上期の景況低迷の影響により、売上高は前年比微減となりました。一方で、利益は収益改善策の効果により増益を確保しました。
- この結果、連結売上高は 3,107 億1千9百万円、前年同期比 0.8%減(現地通貨ベース 0.3%減)となりました。利益面につきましては、持続成長に不可欠な先行投資を厳選した上で継続しつつも、非効率業務の抜本的見直しなどにより販管費抑制を徹底したことで、営業利益は 271 億9千9百万円(前年同期比 15.1%増)、経常利益は 271 億8千9百万円(前年同期比 17.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は 171 億3千8百万円(前年同期比 3.8%増)となりました。

## 2. 顧客の需要回復に加え、新規顧客開拓などにより FA・VONA は対前年プラスを確保

- 2021年3月期のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2020年3月期	2021年3月期	円ベース	現地通貨ベース
FA事業	99,403	<b>102,244</b>	+2.9%	+3.2%
金型部品事業	72,413	<b>66,871</b>	-7.7%	-6.4%
VONA事業	141,519	<b>141,602</b>	+0.1%	+0.4%
合計	313,337	<b>310,719</b>	-0.8%	-0.3%

- FA事業は、中国が年間を通して好調に推移したことに加え、期中より各地域とも回復傾向となり、2.9%の増収となりました。
- 金型部品事業は、自動車関連が下期に緩やかな回復を見せたものの、上期のマイナスを補えず、前年同期比 7.7%の減収となりました。
- VONA事業は、国内の設備投資低迷の影響を受けたものの、海外は確実短納期の強化や新規顧客の開拓により概ね好調に推移し、前年同期比 0.1%の増収を確保しました。

## 3. 中国は大幅増収、その他海外も期中より回復、日本は回復が鈍いペース

- 2021年3月期の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2020年3月期	2021年3月期	円ベース	現地通貨ベース
日本	168,331	<b>154,748</b>	-8.1%	—
海外	145,006	<b>155,970</b>	+7.6%	+8.8%
中国	50,406	<b>63,517</b>	+26.0%	+26.3%
アジア	44,872	<b>43,126</b>	-3.9%	-2.1%
アメリカ	28,001	<b>27,548</b>	-1.6%	+1.1%
ヨーロッパ	15,999	<b>16,089</b>	+0.6%	-1.4%
その他	5,724	<b>5,689</b>	-0.6%	+5.7%

- 日本では期末に半導体関連など一部の産業で回復の兆しが見えつつも、本格的な需要回復に至らず、前年同期比 8.1%の減収となりました。
- 海外では中国が大きくけん引し、前年同期比 7.6%の増収となりました。

#### 4. 年間配当金は 15.09 円の予定

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、2012年3月期下期より配当性向を25%としており、2021年3月期につきましても、この基準を引き続き維持する方針です。
- 2021年3月期の業績実績により、期末配当金は9円18銭(前年比2円14銭増)を予定しております。これにより、年間配当金は第2四半期末の5円91銭と合わせ、15円09銭(前年比54銭増)となる予定です。

	年間配当金					
	第2四半期末		期末		年間合計	
	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向	円 銭	配当性向
前回予想	—	—	8.18	25.0%	14.09	25.0%
当期実績	5.91	25.0%	9.18	25.0%	15.09	25.0%
前期実績	7.51	25.0%	7.04	25.0%	14.55	25.0%

#### 5. 連結業績予想について

- 2022年3月期の連結業績予想については、下記のとおりとなります。  
今後の新型コロナウイルス感染症拡大等の事業環境の変化により、本業績予想は変動する可能性があります。開示すべき事象が生じた際には速やかにお知らせいたします。

2022年3月期 連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	340,000	38,000	37,600	27,400	96.50
当期実績	310,719	27,199	27,189	17,138	60.36
増減率(%)	+9.4%	+39.7%	+38.3%	+59.9%	—

#### [業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2022年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2021年3月期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ  
株式会社ミスミグループ本社  
コーポレート・リレーション室 IR・SR チーム  
Tel: 03-5805-7037 Fax: 03-5805-7014  
mail: cc@misumi.co.jp